夕刊 常磐毎日

発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210
編集兼印刷発行人 池田一夫

耳鼻咽喉科 気管食道科
鈴木医院
平市田町 電六一三

特別交附金困難か 市財政上に重大な影響

市財政上に大穴となつて浮び上つて来た、平衡交附金の減額を埋める唯一の方法として、特別平衡交附金の増額運動のため、政府その他関係当局の意向を打診しようと金古議長及び强口市議は上京十三日帰平したがその運動の経過は次のようで「却々見通しは困難だ」という悲観すべき状況で、今後どう運動するか成行きを注目されている

强口市議談

特別平衡交附金の増額は却々困難だ

その理由の第一は平市の戦災地をタッタ二十五坪と限定されていることである。現実は百四十八坪であるから、この根本を修正をせねば算定の基礎となつているから、増額は出来ぬ、また平市は二等市となつている、湯本など四等であつて、平は担税力があると見られている、二等と三等の差が二百万円も差があるのでこれらなど三等に引下げる運動なり方法をすべきであると痛感して来た。第二には湯本内郷その他全国の炭鉱を持つ市町村はストによる減収をこの特別交附金に求めているので、それだけ他の市町村は減額される浮目を見なければならぬ

最后決定は来る二十日頃までだが特別平衡も減額となると市財政に重大な影響を及ぼすので、今明日中に穴沢地方課長を上京せしめ接衝させることになつている

片寄氏漸く立退 大浦村問題遂に解決

大浦村小学校小使さんの立退問題第二回調停裁判は去る十日平地裁で開かれたが、双方とも従来の感情的な行きがかりを白紙に返して、村側が小使片寄さんに対して「立退料三万円」を支払ろうと言うことでけりがついた

事の起りは昨年十一月中同校講堂新築工事中に現場調査に来た村議長（土木委員長）佐久山保三郎氏(五三)と小使片寄源一氏(四〇)がさ細のことから喧嘩となり丸太棒で佐久山議長を殴りつけたのが原因で村会協議会を招集して協議会の決議により「小使を免職」せしめて学校から立退きを要求したところ小使はこれを聞き入れず「免職になる理由はない、議長は上司ではないから免職通知を受けられない」と要求に応じないので、村長阿部宗順氏は小使片寄源一氏を相手取つて立退訴訟を提訴していたもので、教育委員会が仲介に入つて三万円支払を村長に承諾の労をとつたと言われ、小使は十三日四ケ年の住みなれた学校から引越してけりがついた

平の火事（二棟焼失）

十三日午後八時十五分ころ市内ネギ町吉野鉄工所（責任者新川町吉野勇氏）宿直室から出火、同宿直室一棟十坪を全焼、同資材倉庫屋根を焼き、更に隣家の日雇菅原勇一、同吉田市太郎、同高萩武重、同職工菅井辰造さんら、一棟四世帯を半焼した、損害約二十万円、原因は平市署で調査中だが、同鉄工所宿直室の不始末らしい

電柱を焼く

同夜六時十分ころ市内五丁目菊水しよう像画店前の電柱から出火、同電柱を少し焼えたが、発見早く、大事に至らなかつた、東北電力所有の市内電燈用変圧器が外皮溶解したゝめに火が飛び電柱に延火したもの、東北電力で早速変圧器を新品と交換したので附近の電燈には差つかいない

暴行未遂の男 常習犯らしい

植田地区署では十三日同郡錦町大字中田字落合呉羽化学工員庄司美智男(二八)を強かん未遂容疑で送検なお検事拘置のまゝの余罪取調べ中庄司は去る八日午後十一時半ころ酒をのみ同村字糖塚地内村道を通行中の同字農鷲いちさん(三三)にいどみかゝつたが、いちさんが逃げようとしたのでやにはにいちさんの首をつかんだが「人殺し、助けて」と声を立て騒いだので、附近の人々が飛び出して、植田地区署に突き出したもの、なお同署ではいまゝでと同地内で同未遂事件が二件も発生しているので同一犯人ではないかと追求している

脅迫して暴行

植田地区署では十三日同郡山田村大字井上字仁井田炉田福(三二)を暴行容疑で身柄送検した、二十七年十一月二十九日午后六時頃同字農石井キヨさん(三四)方で米をかせと強要ことわられるや、やにわにキヨさんの頭部等を強打した疑いによるもの

大トラ暴れる 出刃で傷害

植田地区署では、十三日同郡山田村大字上山田農金沢滋雄(三七)を暴行傷害容疑で逮捕した、金沢は十三日午前十時頃同字農金山又太郎さん宅で酒をよばれていたが、さゝいな事から口論となり雲行が悪くなつたので隣家の金山清吉さん(五三)が止めようとしたところ、金沢は土間においてあつた出刃でいきなり金山さんの左肩に切り付け全治十日間の傷を負わせたほか、喧嘩をみていた同字農秋山トメさん(五二)も殴つた疑いによるもの

来る 二月十五日(日)
午后八時十五分より三十八分までTOIR（ラジオ仙台）より鈴木正夫氏民謡集の放送あり
合同経済金庫提供

感心なバスガール 乗客者から金一封

常磐交道

旧正元旦の朝、うるわしい話題を乗せた常磐交通のバスが江名を始発した
ー常磐交通バスが高久村山口にさしかゝつたとき、雪どけの田んぼの中を老母がしかも二人の子供を連れて、バスに乗るべく走つて来た
この姿を眺めた車掌の津坂治美さん(一九)は、停車すると同時に数丁離れた老母の許へ走つてゆき、子供らを抱いてまた一目散にバスめがけてかけつけ、漸く乗車せしめた
この様子を見ていた乗客は、車掌の親類の者でも連れに行つたものと合点していたところ、車中に腰を下した老母は
「まあ御親切に、お陰で次のバスまで待合せしないですみました」
と涙を流さん許りの礼に、乗客連も、親切な車掌さんだと感心し、乗客中の一紳士は、平着と同時に金一封を常磐交通社へ届け「感心なバスガールをほめてやつて下さい」と名前も告げずに立去り、初めて本社でも判り近く表彰する事になつた

社告

十五日（日曜版）は旧正につき従業員慰安のため臨時休刊致します
右御了承のほどお願い申上ます
常磐毎日新聞社

胃病薬なら アルファ胃散 小野薬局

近火見舞御礼

昨十三日夜八時項吉野鉄工所火災に際しましては早速御馳つけ下され且御見舞を賜り誠に有難う御座いました混雑致しておりましたので御尊名もれもある事と存じますので取敢えず紙上を以つてお礼を申上げます

平市禰宜町十四番地
鈴木美貞
鈴木イセ

旧正初賣出し
（平指定館チケツ 御利用下さい）
旧正3日（2月16日マデ）
1日、2日、3日、は特に景品付福引と
赤札大奉仕を致します
日項の皆様の御愛顧に報ゆるため佐川が旧正に贈る思いきつた十日間の大サービス
実用呉服、京呉服、御婚礼衣裳大特売
平市五丁目
佐川呉服店

二八平商告示第五号
昭和二十八年二月十三日
平商工会議所選挙長
事務局長 草野四郎

告示

平商工会議所議員選挙に関する規則第二十条第二項に依り当選人と決定したる者の氏名左の通り

小野栄一	强口唯七郎	緑川佳一	滝口豊	山家重吉	山崎賢助	武田金一	佐々木俊男	鈴木文雄	坂本昌蔵
中村芳平	野崎満蔵	阿部政右エ門	鈴木条一郎	清宮一郎	山田盤磨	正木昌次郎	坂井清之助	佐藤三平	野沢武蔵
岡田不二	志賀子之松	吉田博	色川光以	林田満	渡辺恭三	服部梅雄	中野豊須美	佐藤源吉	渡辺重三郎

ワイシャツは百貨店の生命
ですから藤越では特に力を入れることにいたしました。これまでにないような高級品も多数取揃えましたから一度ワイシャツ売場を御覧下さいませ。そして忌弾のない御批評を願います
●ブロードYシャツ 千三百円
●格子オープン〃 千四百円
福引大売出し
小名浜 平市
藤越

景品付 旧正初売出し
優良格安品豊富に取揃へ年一度の御礼奉仕
舊正月1、2、3日
御買上100円毎に成田山初まいり御招待
福引券の外洩れなく景品進上げます
ホかや
平三 電203

吉例二日市 大売出し
最低値特売、景品、福引三重サービス
三丁目店
オーバー 値下奉仕
三丁目支店に服地特売所を設けました 御一覧下さい
鈴藤
四丁目 本店
木綿反物、純毛化繊服地
婦人オーバー、トツパー
特価奉仕

検便を拒否の保育所
保健所は高壓的だと對立

平保健所では昨夏以来隣月保育所に対し保母と給食係に月一回の自主検便を要望して来たが、一向に検便を受ける気配もないので、十一日同所に対し強制検便を実施すると通告したところ「保健所のやり方は高圧的だ」と反ばく児童福祉にたずさわる所が七ケ月目の十二日に始めて検便を受けに来たという不祥事が関係者間に取り上げられ、隣保館に集団赤痢保菌者が出ている折なので隣月保育所の行動が注目されている、しかし両者間にはかなりの喰い違えがあり両者の言分を聞いて見ると

平保健所「昨年夏以来県条件に基き保育所の給食係りと当然給食を手伝う保母の検便を実施し、始めは同所で出張検便などを行つて来たが手が廻らぬ為、昨冬以来自主的に月一回の検便を受けるとの確約を得て細菌係にまかせていた、ところが細菌係では十日に到り何回電話をかけても検便に来ないと防疫課に強制検便を要望して来たため同課では中をおんびんにすまそうと電話を掛けて注意したところ同保育所長飯野則男氏は保健所は高圧的だと反ばく私しは何んら通知を受けてないと無責任を言葉をろうし、児童福祉の為に出来ている保育所がこの挙に出ている事は遺憾である」

飯野保育所長「保健所から一回電話が掛つて来たと言う事は聞えたしかし吾々の所は県の民生部か福祉事務所から通告があつたときはいつでも受けて来た。しかし公文書もよこさぬ保健所が十一日突然強制検便を実施すると言つて来たので「高圧的だ」と言つたことは事実だ、しかし保健衛生に協力しないと言う事ではない、こう言つた事は正式な公文書で通告してもらいたいし福祉事務所にも連絡を取つてもらいたい

▼すでに十四件二十町歩をはいにしている、山火事の多い場所は全部落民有林で原因はたき火の不仕末たばこの吸いがら、子供の火遊びが大半で同課では火災防止方法を次の点を上げている

▼山にマツチを持つていかないようにすること

▼歩行中は絶対に煙草を吸わないこと

▼煙草やマツチを持つて行く場合はマツチ一本の場合でも火の消えるまでまつか、足で踏み消してしまうこと

▼たき火はなるたけ行わないことものたき火をする場合は一人が付きそりていること

供米感謝祭（泉村で行う）

泉村役場では十七日午前十時から小学校で、供米感謝祭を催し、次の諸氏に対し、三瓶村長から賞状授与式を行う

▼水稲普通苗代品評会で優良な成績だつた
一位下遠野武、上遠野正則、志賀連
二位、上遠野猛次、江尻清邦
佐藤吉信
三位、沼出重治

▼保温折衷での優良
一位、松崎大二、吉田定信

湯本図書購入

湯本町図書部会は十二日午後六時から、同町公民館図書室で開、ポきスター七十点、標語百五十点審査は十四日行うことにし、審査員を次の通り決定した、
深沢喜一、高田稔　鯨岡賢郎、
角田正一、近内いくよの五氏

隣保館又一名

平市南町大庭憲夫ちゃん（3）は十二日赤痢保菌者と判明、隔離された隣保館の保菌者はこれで八名

湯本教養部会

湯本町公民館教養部会は十二日午後六時から同館会議室で開き、新年度予算三十万円について審議した結果、原案通り可決した、
なお行事計画としては町民の文化向上を図るため、青年、婦人成人各学級、各種講習会、講演会などを開催することを決定し具体案は次回部会で協議することになつた

山火事の季節
各町村へ警告

石城地方事務所林務課では、最近管内で山火事が頻発一方山火事の季節に向う折なので事態を憂慮、町村役場並に森林組合、森林所有者に文書やぶれ障子のふす間をもつて警告を発する一方一般農家をもつて警告を発夜廻りの音にめざまし寝返り打つて

（第廿七報）常磐都々逸会々員作吟発表
晴れて添う日を只一筋に
指折り数へて待つ二人』
湯本寿内（音丸）
化粧する気で鏡で向ひ
近頃めつきり思ひやせ』
〃　とよろき内（綿太）
寝られぬまんまに小さな胸に
思痴と未練と合ひ不足』
〃　鈴木内（光子）
一日二日三日とつひ居つよけに
帰えりそびれる遊出宿』
〃　つた本内（みどり）
おとづれて来る春の風』
〃　湯の香内（定奴）

石城地方に発生した山火事は三十一件で、被害は実に五十万円に達しているが、今年に入つてからは特に二日三日とつづけて発生しているので、警察署では山火事の多い場所に対しては注意するよう要望している。昨年

東京堂 ふみ子さん

東京堂ベーカリーの看板娘渡辺ふみ子さん（二）は東京堂主人が推選してくれた同店切つての模範店員、入店以来まる四年間、雨の日も風の日も一日も欠かさず通勤して本当に真じめ一方の努力が買われて、今では帳場一切を主人からまかされて、切り廻している、八幡小路から通勤しており、近隣の評判もよく「小路小町」と呼ばれてる程の美人だが、それを鼻にかけないところが同僚から好かれる原因だそうだ、芳き正に花も恥ろう十九才だが、浮いた話の一つもなく、「仕事が面白いので、恋をする暇などないわ」と嘯く受け流して青春の感情を割切つているが、本当にさうかどうかは本人の胸に聞えてみないと判らない、時おりは映画も観るし「平凡」や「東京」などの映画雑誌を読んでは自から慰めているのかも知れないとは、同僚の話である、眺かふみ子さんの胸のうちを射止めて若き情熱のほどばしりを聞いてみる、人はおりませんか

（写真は職場のふみ子さん）

旧暮 旧正 ◆夜間営業七時半マデー
賣出中は
時期末商品大見切
第一次商品として
シヨールとマフラ
子供オーバーとトツパーコート
只今破格提供
純毛セーター特價品
婦人用八〇〇円ヨリ　男子用一〇〇〇円ヨリ
三丁目 東平 電一、一四四

販売部切替のため
現在手持限り
2割引
大サービス
高級背広上下
替ズボン
ジャンパー
2月12日ヨリ
2月22日マデ
寿百貨店 洋服部

内科　小児科　放射線科
高久医院
平市田町（電五一三）

旧正月サービス
福引券付
大売出し
冬物最後の
安値大提供
純毛服地・学生服・紳士婦人服・紳士婦人オーバー
鈴木勘呉商店 電七三二
第一店（一丁目店）　第二店（三丁目店）

宅地建物取引業
福島知事登録済
磐洋勧業株式会社
平市字四丁目一〇（郵便局横通り）電話二一七番

大塚の吉例二日市
福引の外……（旧元日、二日、三日）
特別……二重景品……進呈
チケット御利用下さい
★定評有る……大塚の靴
★各種スポーツ用具
★月星印　運動靴
平駅前大通り　電七七
大塚

内職　婦人多数　募集
姓名　在社

急募（女給さん）
若干名
本局前　小柳

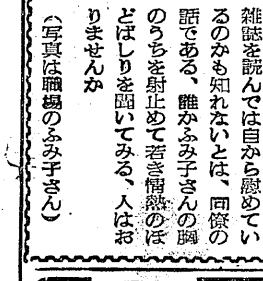
大谷石
木炭
五丁目線六六　井上

割烹旅館 池月
平電一〇七三

寿しの味の素 915

ラジオ
月賦 六ケ月 十二ケ月
平二丁目 日東商会

花長のおでん
寿司は花長
「花長の支那そば」



皆様の御要望に応じ
小型貨物車を増車致しました
御用命をお待して居ります
連絡は電話一八七番を御利用下さい
一般貸切貨物車東京―平間定期便
運転手募集
委細面談
磐城貨物自動車株式会社
平営業所
電話一八七番

成田山一泊
50名様御招待
2月7日―旧正3日
旧歳末旧正
福引大売出し
実用呉服より高級呉服まで豊富取り揃え特価提供
旧正二日三日には福引券の外に粗品呈上
初春向京呉服陳列
平三 三井呉服店